

こどもに読んでほしい・親子で読んでほしい 性教育本・絵本の紹介



こどもに性を伝えるおすすめ絵本（幼児期向け）



ぼくのはなし

作・絵：和歌山 静子
出版社：童心社

ぼくの名前は海です。ぼくはどこから生まれたの？
どのようにしてぼくが生まれたのかをさわやかに描き、ぼくとして生まれたことの喜びを語ります。

わたしのはなし

作・絵：山本 直英・和歌山 静子
出版社：童心社

わたしの名前は愛です。
わたしの体の中で水着をつけている所をプライベートゾーンといいます。
自分の体と心を自分で守ることの大切さが描かれています。



あっ! そうなんだ! わたしのからだ

著：中野 久恵 星野 恵 絵：勝部 真規子
出版社：エイデル研究所

絵本編では、男女・大人とこどもの身体の違い、プライベートゾーンや排泄のしかたなどからだを守る方法を具体的に知ることができます。
解説編では、絵本編で伝えたい内容を補足し、おとながどのような視点で子どもに語る
ことが大切かを会話形式で示してあります。

コウノトリがはこんだんじゃないよ!

作：ロビー・H.ハリス 絵：マイケル・エンバーリー 訳：上田 勢子 監修：浅井 春夫 良 香織
出版社：子どもの未来社

子どもたちが知りたい「からだのこと」「自分がどこからきたのか」「男の子と女の子の
違い」「友だちや家族」などについて、絵とマンガをまじえてやさしく説明します。



いいタッチわるいタッチ（だいじょうぶの絵本）

著：安藤 由紀
出版社：復刊ドットコム

子ども自身が“自分を守るために大切なこと”を学べる絵本。
子犬の子どもたちが、人を愛したり守ったりする「いいタッチ」と、人に暴力をふるい
権利を奪う「わるいタッチ」があることを知って、自分の身体を守ろう! という教育
絵本です。



小学生のこどもに読んで欲しいおすすめ性教育本

わたしの心と体を守る本 マンガでわかる!性と体の大切なこと

著: 遠見 才希子 アベナオミ
出版社: KADOKAWA



13歳までに伝えたい 男の子の心と体のこと

著: やまがたてるえ
出版社: かんき出版



サッコ先生と! からだこころ研究所 小学生と考える「性ってなに?」

著: 高橋 幸子
出版社: リトル・モア



げっけいのはなし いのちのはなし

著: おおいし まな
出版社: みらいパブリッシング



保護者におすすめの性教育本



子どもと性、はじめませんか?

著: 宮原 由紀 監修: 高橋 幸子
出版社: CCCメディアハウス

「赤ちゃんって、どこからくるの?」
「セックスって、なに?」
「子どもがアダルトサイトを見ていた!」

ある日突然やってくる子どもの疑問への答え方、行動への対応から、男女の体の違い、性的同意や性犯罪のこと、自画撮りの送受信問題、性感染症や望まない妊娠、LGBTQまで、からだと性にまつわるすべての話をわかりやすく伝えます。性教育メディア「命育」に寄せられた悩みや疑問を、専門家監修のもと書籍化。子どもへの伝え方の例が満載の1冊です。

泌尿器科医ママが伝えたいおちんちんの教科書

著: 岡田 百合香
出版社: 株式会社 誠文堂新光社

「何となく」しか知らなかった性器のこと。その構造や成長過程、洗い方やトイレトレーニングについてなど幅広く、そして分かりやすく解説してくれます。なかなか人には聞けない性器に関することは、大人の男性でも知らないことや勘違いしていることが多いかもしれません。大切なお子様の大切なプライベートパーツだからこそ、正しい知識を持って向き合ってあげたいものです。ぜひ参考にしてみてください。



上記の本は、「みらいえ」1階の図書コーナーにあります。
貸出しもできますので、ご希望の方は、1階事務所までお声かけください。